

【SBIRTS】

Screening, **B**rief **I**ntervention, **R**eferral to **T**reatment and **S**elf-help groups

● Screening（ふるい分け）

AUDIT,KAST,CAGE 等を使用して「飲酒度」をチェックする

● Brief Intervention（簡易介入）

“危険な飲酒”患者には、節酒を勧め、“乱用”や“依存症”患者には断酒を勧める

● Referral to Treatment（専門医療の紹介）

専門治療の必要な患者には「紹介」を行う

● Self-help groups（自助グループへの接続）

医療機関や健康診断機関のスタッフが強力的に自助グループへの参加を推奨する。

1. SBIRT は専門医療機関においては、早期発見から早期治療のためのコンセプトとして定着した手法であるが、SBIRTS は、これに自助グループ（Self-help-group）の「S」を連結した考え方。
2. アルコール依存症は進行性の慢性疾患であり、医学的治療の進歩により一時的な断酒等短期的な改善は見られても長期的な回復を持続することは難しい。
アルコール依存症の受診患者が順調な長期的回復を実現するためには、自助グループに参加することが望ましい。
3. そのためには、治療にあたる医師が、積極的に、患者と自助グループの構成員との出会いの場を演出し、患者自身の持つ偏見を取り除き、自助グループへの抵抗を和らげるよう努力することが大切である。
自助グループは、これに応じて、受け入れ態勢を整えなければならない。視点を変えれば、医師による治療のための出会いの場という側面と、自助グループによる医師への治療支援という二つの側面があるといえる。

第二期アルコール健康障害対策推進基本計画では、以下の通り SBIRTS の推進を求めている。

「各地域において、アルコール健康障害の早期発見、早期介入、切れ目のない 治療・回復支援を実現するため、内科・救急等の一般医療、一般の精神科医療機関、専門医療機関、相談拠点、自助グループ等の関係機関の連携体制（SBIRTS※）の構築を推進する。」